

# 横井としおのまじめ話

Vol. 2

## Vol. 1 前号のあらすじ

ざいせいはいたん  
財政破綻(自治体の倒産)した夕張市、その破綻の理由は、炭鉱がなくなり人が激減、観光産業を興すために莫大な借金をしたからです。しかし、結局うまくいかなかった。それをカバーするため、隠れ借金を増やし続けました。ついには何ともならなくなり、破局がおとずれたのです。

これは美和町には関係ない話なのかを、統計グラフをもとに考えました。すると、実は、美和町もずいぶん厳しい状況で、財政が硬直化(経常収支比率が 86.2%)してきていて、財政破綻する可能性もある。それは、町税や交付税などの町の収入が減ってきている、でも支出は減っていないから……。

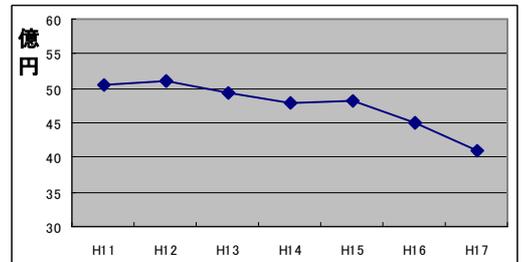
## 美和町の 収入・支出

前号で、収入が減っているけど、支出が減っていない、だから危なくなってきた！と言いましたが、どんなものでしょう。

まずは収入から。町税や国からの交付税がずいぶん少なくなっていることは、前号でグラフを見ました。

右のグラフは、減収をカバーするための、特別な借金を含んだ、一般財源の収入(美和町が自主的に使える分)のグラフです。平成12年と比べると、約10億円の減収です。

美和町の主な一般財源の推移

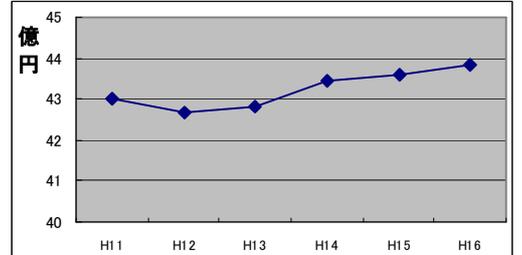


次に支出を。支出の分類はたくさんあって分かりにくいので、経常的経費の推移を見てみましょう。これは、何が何でも支払わなければならない義務的費用といわれるものです。

家庭で言うと、食費や学費、家賃、電気・水道代とかローンもそうですね。そういった、生活を維持するためどうしても支払らなければならないものことなのですが……

支払いのほうは、1億円ほど増えてきていますね。(T\_T)トホホ

美和町の経常的経費の推移(総額)



## 美和町のお金の使い方 義務的費用……どうしてこうなったのでしょうか！？

下のグラフは、経常(義務)的経費の主な項目の推移。

補助費等、扶助費、繰出金がかなり増えていますが、物件費と公債費が下がっているため、全体では、微増、微増とは言っても1億円……。

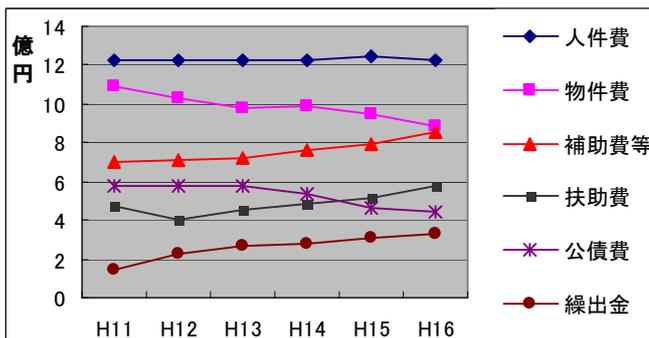
こんな項目名、なんのこっちゃ！と言われますので少し解説を

扶助費：生活保護、児童福祉、老人福祉、障害者福祉、などへの費用です。

補助費等：色々な団体への補助金、負担金、報償費、寄附金などです。

繰出金：他会計、基金へ繰出すお金。国民・老人介護の各保険、下水道事業、尾陽病院などへ。

美和町の経常的経費の推移(項目別)



わざと分かりにくい名前にしているのかと、思えちゃう



人件費: 地方公務員の給与や退職金など。

物件費: 委託料、賃金、旅費、役務費など。

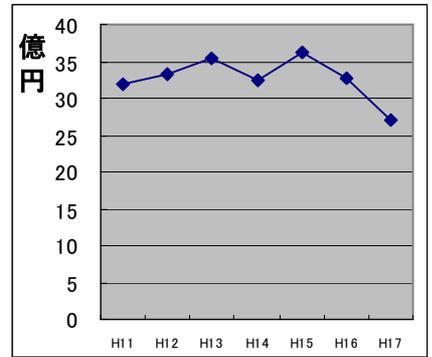
人件費、扶助費、補助費等以外の消費するものの総称。

公債費: 町の借入金(町債)を返済する元金や利子の支払い。

## やりくり できるの !?

収入が10億円減って、支出が1億円増えれば、当然、やり繰りが厳しくなっていますね。どうしているかといえば、それは 貯金(財政調整基金など)の切り崩しで、まかなってきているのです。この貯金が底を着くと、赤字団体への転落が始まるのです。

基金総額の残高



## 支出を減らしていかないと . . .

とはいえ、各種保険や福祉への支出は少子高齢化社会に向かって、今後も負担は増えていくでしょう。下水道も始まったばかりで、お金のかかる工事はこれからが本番です。そうなると、扶助費や繰出金はますます支出が増えそう。それこそ「分かっちゃいるけど、止められない」なんですね。

## 収入は増やせるの !?

国や県からの交付税や補助金は、はっきり言って「ない袖は振れない」と言う状況です。

町の収入といえば、税収です。皆さんも、なんでこんなに払わなきゃいけないの、と思ったことがあるかもしれないですね、住民税と固定資産税が大きな財源になっています。

最近、新聞やテレビでは、いざなぎを超える好景気なんて言っていますが、その実態は、大手企業が利益を出しているだけで、私たちの暮らしが良くなっているわけではないのです。

その証拠に、サラリーマン平均年収は8年連続でダウンしているのです。前年度比0.5%ダウンの437万円だそうです。こんな状況では、美和町としても税収の伸びは期待できないでしょう。

## 手は打っているの !?

町は平成16年度に「美和町行財政改革アクションプラン」を発表しました。これを基に平成21年度までの5年間で美和町の行財政を立て直そうというものです。主な成果目標としては ①効果額7億7千万円 ②職員15人減(△8.6%) ③町長、特別職の給料5%減・管理職2%減・収入役の廃止 ④議員定数4人減 ⑤指定管理者制度導入等 です。(詳しくは美和町ホームページをご覧ください)

[http://www.town.miwa.aichi.jp/miwatown/html/kikaku/gyokaku\\_action.htm](http://www.town.miwa.aichi.jp/miwatown/html/kikaku/gyokaku_action.htm)

5年間かけての成果目標です。果たして、この改革で、これからの厳しい時代を乗り切れるのでしょうか。

## 夕張市の二の舞いになることはないのでしょうか

### 自治体 格差の時代

決算書も読めない議員はもういない——。夕張市民のみならず、財政が危機に面している自治体の住民の皆さんはそう思っているのではないのでしょうか。夕張市の財政破綻は、私たち地方議員に変化を迫っているといわれます。「パイプ役」から「チェック役」へ。行政への監視力を強くすることが必要です。

地方分権が進めば進むほど、自治体の首長・議員を誰がやるかで行政サービスに大きな違いができてくるといわれています。夕張市のように、破綻するところもあれば、福島県矢祭町のように、小さくても自主独立した高度な住民サービスを行っているところもでてきています。どちらになるのか。それを選ぶ権利があるのは住民の皆様。皆様に未来を託しているのが、議会制民主主義の制度なのです。

ここまで読んでいただいてありがとうございます

**次回は議員の役割を**